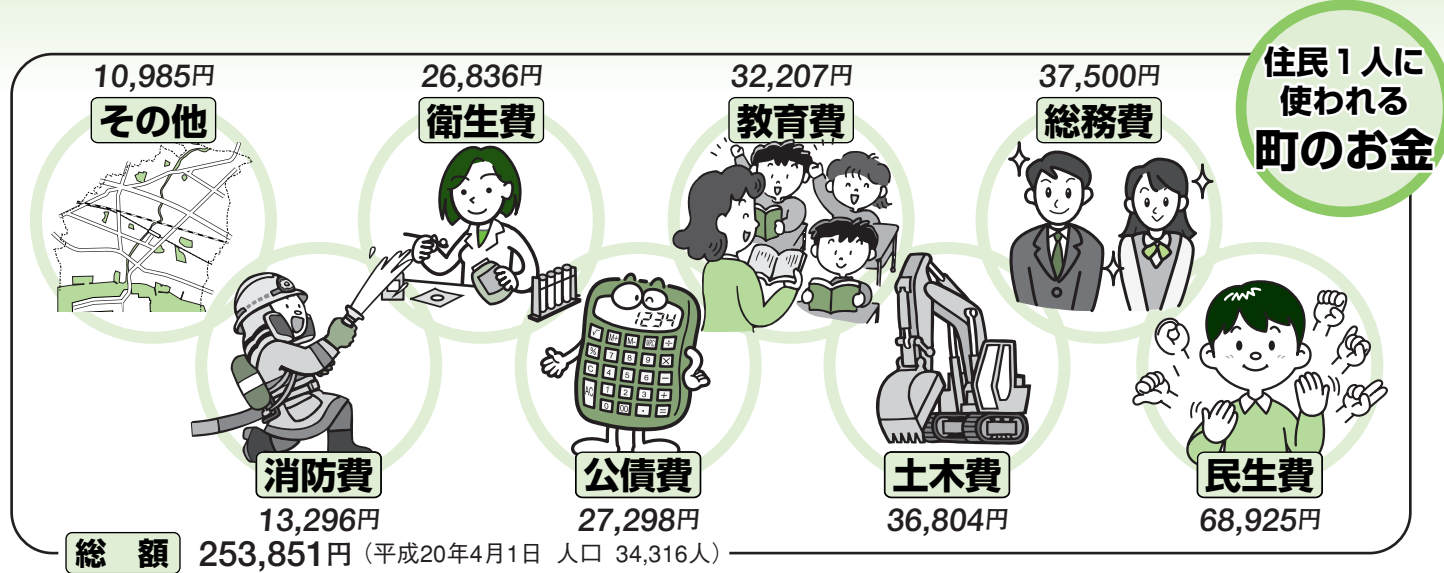
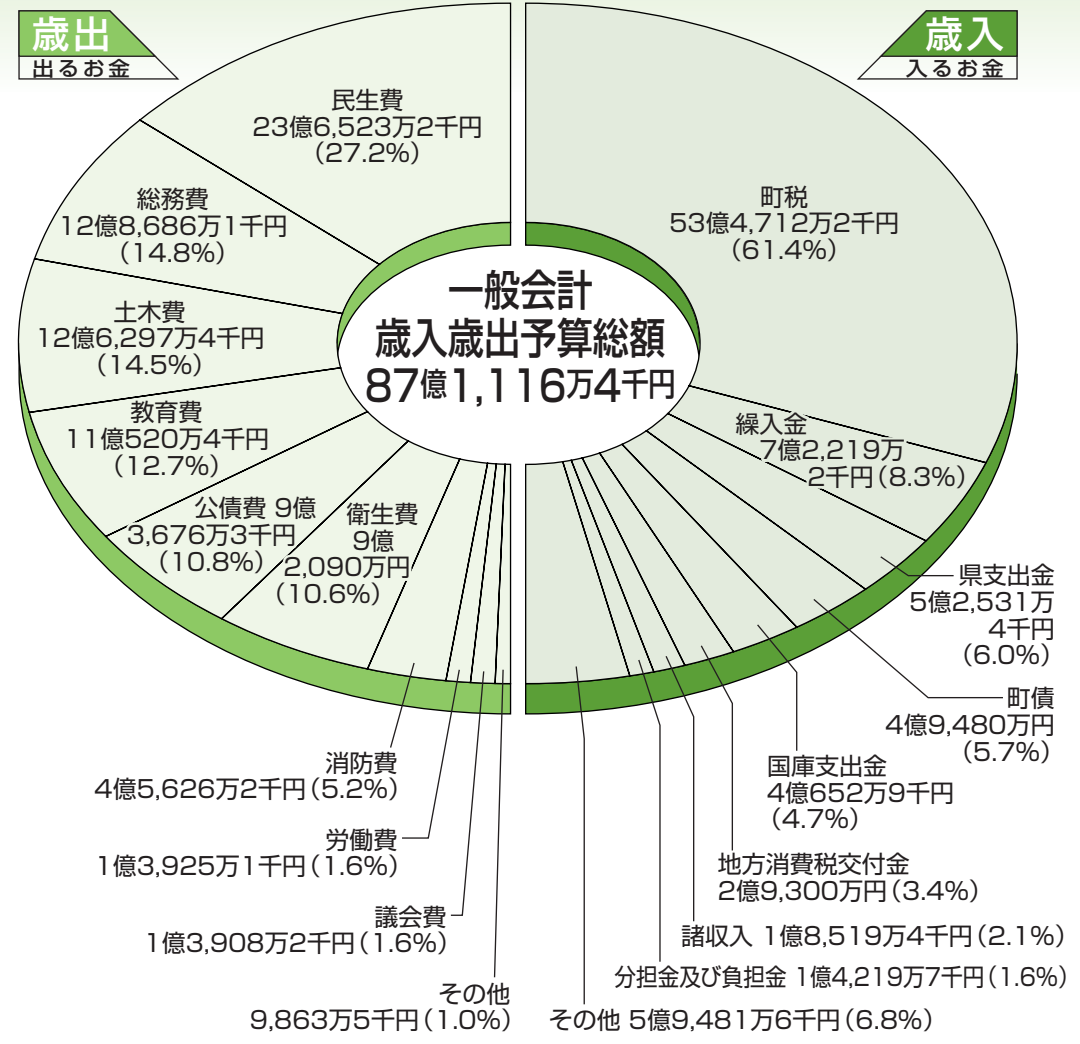


平成20年度予算が決まりました 予算総額は、175億5912万8千円

平成20年度の予算が、3月の定例町議会で決まりました。今年度は
 どれだけの収入があり、どのような事業にお金を使うのでしょうか。
 今月は、1年間の収入と支出の見積である予算についてお話しします。

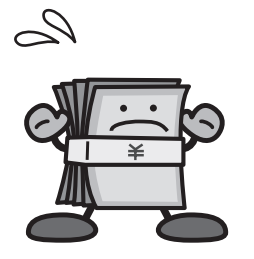


地方交付税が大幅に減額

一般会計の歳入においては、町税が最も多く、53億4712万2千円で、全体の61.4%を占め、昨年度に引き続き増収見込となりました。その内訳は、法人町民税が減収見込となりませんが、固定資産税及び個人町民税は増収が見込まれるため、全体では昨年度よりも1億3686万4千円、2.6%増となりました。

次に多いのが財源不足を補うための財政調整基金などの繰入金(貯金の取崩し)で、全体の8.3%を占め、7億2219万2千円となりますが、昨年度と比較すると4億1816万1千円、36.7%の減額となりました。

その次に県支出金が5億2531万4千円、前年比66%の増、そして町債(借入金)は4億9480万円で前年比24.1%の増となりました。そのほか、地方交付税においては、年度はさらに減額となりましたが、本年度は9億000万円の見込みでしたが、本年度はさらに減額となり、8200万円、60.8%の大幅な減となる見込みです。



概要

一般会計と特別会計などを合わせた予算総額は、175億5912万8千円で、昨年度と比べて16億6037万円、8.6%の減となっています。会計別では、一般会計が87億116万4千円で前年度に比べて24%の減となっています。

また、本年度から新たに創設された後期高齢者医療事業を含む6つの特別会計の予算総額は、78億4359万4千円で前年度比13.2%の減となります。

また、企業会計である水道事業は、前年度比20.3%減の10億437万円です。

区 分	予 算 額	対前年度伸率
一 般 会 計	87億1,116万4千円	△ 2.4%
特 別 会 計	78億4,359万4千円	△13.2%
(国民健康保険事業)	32億7,563万7千円	0.2%
(財 産 区)	10億6,935万1千円	0.4%
(老人保健医療事業)	2億3,035万8千円	△89.3%
(下水道事業)	15億 141万7千円	41.7%
(介護保険事業)	15億2,799万9千円	2.9%
(後期高齢者医療事業)	2億3,883万2千円	皆増
企業会計(水道事業会計)	10億 437万 円	△20.3%
合 計	175億5,912万8千円	△ 8.6%

子育て・高齢者支援を充実

一般会計の歳出で最も多いのは、民生費の23億6523万2千円で、一般会計の27.2%を占めます。これは、高齢者や障がい者(児)の福祉施策や保育園などの児童福祉施設のための予算で、今年度から新たに創設される後期高齢者医療制度に係る経費や乳幼児等医療費助成制度に伴う経費などはここに含まれています。

そのほか健康いきいきセンター・福祉しあわせセンターなどの福祉施設、北部及び南部子育て支援センターの管理運営経費、前年度に引き続き児童保育専用施設を播磨小学校に設置します。

まちの基盤整備と教育の充実をめざして

2番目は、総務費で12億8686万1千円、全体の14.8%を占めます。これは、町の一般的な管理事務経費で、税の賦課徴収等にかかる費用や電算システムの維持経費、戸籍、住民基本台帳の管理経費などがあり、今年度は庁舎の受変電設備の更新や災害対策用として非常用発電機を新たに設置します。ほかにJR土山駅に自転車駐車を増設する経費などが含まれています。

3番目は、土木費で12億6297万4千円、全体の14.5%を占めて

用語解説

- <歳入>
町税…所得にかかる町民税や土地・建物にかかる固定資産税など
繰入金…各種基金(預金)から一般会計へ繰り入れたお金
国庫支出金、県支出金…事業を行うための国や県からの負担金や補助金
町債…事業を行うために借り入れたお金
地方交付税…町の財政需要に応じて国から交付されるお金
- <歳出>
民生費…高齢者や障害者、児童のための福祉など
総務費…財産管理や企画・税務事務など
教育費…学校教育や公民館の整備など
土木費…道路や公園の整備など
公債費…町債などの借入金の返済
衛生費…ごみ・し尿処理や予防接種など
消防費…消火・水防活動など
労働費…労働者への福利厚生など
議会費…議会の運営など
農林水産業費…農業・水産業の振興など
商工費…産業の振興や観光など

います。これは、町道浜幹線道路新設事業などの道路整備費やふるさと川(喜瀬川)整備事業などの河川環境整備のほか大中遺跡公園をはじめとした都市公園等の維持管理経費があります。

教育費は、11億520万4千円で12.7%を占め4番目です。これは、教科専門指導教諭、スクールアシスタント、スクールカウンセラーなどを配置する経費や小中学校の図書室の機能の充実を図るための司書を派遣する経費、小学校での英語活動の推進のための経費のほか、幼稚園や小・中学校施設の維持管理経費、耐震対策として播磨中学校体育館の耐震工事などがあります。また、本年度より加古川養護学校へ通学する児童生徒への通学支援を実施します。

そのほかにも公民館、各コミュニティセンター、図書館、スポーツ施設などの維持管理経費や、中央公民館の外壁塗装工事などの施設整備費もここに含まれています。

公債費は、9億3676万3千円で全体の10.8%と5番目となっています。これは施設の建設や道路の整備などのために、これまで借り入れてきたお金(町債)の返済にあてられるものです。平成20年度末の一般会計の町債残高見込は約90億1579万円で、特別会計を合わせた全体では、約188億2920万円となる見込みです。

こんな事業を実施します

町の基本的な目標を定めた「第3次播磨町総合計画」に定められた5つの柱に分けて、平成20年度に行う主要・新規事業を紹介します。

1 豊かなこころを育み 文化を創造するまち

小・中学校教育の充実

スクールアシスタントの配置 740万円

特別な支援を必要とする児童に対して学校生活上の介助や学習活動の支援を行います。

教科専門指導教諭の配置 2,745万円

基礎・基本的な内容の確実な定着とそれぞれに応じたきめ細やかな学習を推進します。

スクールカウンセラーの配置 119万円

学校・家庭・関係機関と連携を図る中で、児童や保護者の相談活動を行い健全な成長を支援します。

読書活動推進事業 863万円

読書習慣を身に付けさせ豊かな感性を養い育て、学力の基本要素「読む力」の育成を図ります。

小学校英語活動推進事業 893万円

国際人として必要な資質の基礎を身につけさせるため、小学校3年生以上に毎週1時間、幼稚園や小学校1・2年生についても計画的に英語活動を実施します。



障害児童生徒通学支援事業「新」 590万円

加古川養護学校へ通学する身体に障害のある児童生徒の通学支援を行います。

放課後子どもプラン事業 121万円

放課後などに小学校施設等を活用し、地域住民の参画を得て子どもの安全・安心な居場所づくりを推進し、健やかに育まれる環境づくりを推進します。

学校園施設の充実

小学校…遊具整備改修事業ほか 241万円

小学校遊具整備改修事業、小学校電話設備整備事業など実施します。

中学校…建築物耐震対策事業 2,356万円

中学校建築物耐震対策事業として播磨中体育館の耐震工事を実施します。

幼稚園…建築物耐震対策事業ほか 362万円

幼稚園建築物耐震対策事業として播磨幼稚園の実設計画や幼稚園遊具整備改修事業などを実施します。

文化施設の充実

中央公民館改修事業 3,300万円

中央公民館の老朽化した外壁の塗装工事を実施します。

2 誰もが健康で安心して暮らせるまち

乳幼児等医療費助成事業 1億1,447万円

0歳から小学3年生終了前児童の医療費を無料化し、子育て支援を推進します。

学童保育施設整備事業 3,025万円

利用する児童の増加により手狭になった「播磨小学校学童保育所」に新たな専用施設を設置します。

特別保育補助事業(病児・病後児保育) 1,786万円

多様な保育ニーズに対応するために、病児及び病後児の保育を実施し、保育サービスの充実を図ります。

妊婦健康診査費助成 900万円

妊婦の方が妊婦健康診査をさらに適切に受診できるよう補助制度を見直します。

住民健康調査事業「新」 100万円

住民の健康保持を図るため、大気汚染物質や粉塵などの健康に及ぼす影響を調査します。

保健推進事業の中の健診・検査委託料「新」 1,808万円
生活習慣病につながる「メタボリックシンドローム」やその予備軍を抽出し、対象者に生活習慣改善等のプログラムを提供する特定健診・特定保健指導を実施します。

後期高齢者健診事業「新」 1,178万円

後期高齢者医療広域連合の被保険者の健康保持と増進を目的に健康診査を実施します。

後期高齢者医療費等負担事業 1億8,284万円

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、老人医療費の町負担額(老人医療費の1/12)及び広域連合への負担金を交付します。

《特別会計》

国民健康保険事業特別会計

特定健康診査・特定保健指導事業「新」 2,523万円

内臓脂肪型肥満に着目した健康診査(特定健診)を行い、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導(特定保健指導)を実施します。

介護保険事業特別会計

特定高齢者把握事業の中の検診・検査委託料「新」 1,668万円

65歳以上の高齢者を対象とした生活機能評価により、特定高齢者を把握し、介護予防を進めます。

3 安全でさわやかな都市環境のまち

都市計画道路の整備 2億2,187万円

浜幹線道路の整備を進めます。

町道の整備 4,344万円

町道新池宮山線道路改良・平岡野添南線舗装補修、町道新幹線南側線フェンス修繕など町道の整備を進めます。

ふるさとの川整備事業 3,806万円

喜瀬川の河川改修事業にあわせて、遊歩道、植栽などを整備し親水性豊かな水辺空間を創造します。

自転車駐車場整備事業 113万円

駅利用者の利便性の向上のためにJR土山駅南側に新たに自転車駐車場を増設します。

地籍調査事業「新」 44万円

行政の効率化を図るための地積調査の準備を進めます。

緊急地震速報システムの導入「新」 25万円

今後予測される地震災害の減災のため、事前に揺れを知らせるBAN-BANテレビ緊急地震速報システムを幼稚園、小・中学校などの公共施設に導入します。



防災行政無線更新事業「新」 380万円

防災行政無線の老朽化に伴い機器の更新及びデジタルへの変更設計業務を行います。

4 快適な生活環境と 産業が調和する活力あるまち

塵芥処理施設修繕工事 1億657万円

塵芥処理施設の適正な運営及び維持管理のための整備を行います。

一般廃棄物処理施設整備基金積立事業 1億円

将来の一般廃棄物処理施設更新に備え、その整備資金を確保するため一般廃棄物処理施設整備基金への積立を平成18年度から行っています。

5 交流を進め みんなで協働して創るまち

夏まつり事業 950万円

夏まつり事業を支援します。

大中遺跡まつり事業 370万円

大中遺跡まつりを支援します。

海区漁業調整委員選挙の実施 20万円

農業委員選挙の実施 27万円

庁舎整備事業「新」 9,061万円

庁舎の受変電設備の更新、非常用発電機の新設、多目的便所改修工事を実施します。

第4次総合計画策定事業「新」 687万円

平成23年度から始まる第4次長期総合計画について、本年度から計画づくりに着手します。